



民間セクター開発

社会課題に挑むスタートアップを支援

エチオピア スタートアップエコシステムアドバイザー／Project NINJA

途上国の課題に新たなアプローチ

開発途上国の複雑化する社会課題に革新的な製品やビジネスモデルを用いて挑戦し、急成長するスタートアップがあります。JICAは2020年1月にProject NINJA (Next Innovation with Japan)を立ち上げ、そうした開発途上国のスタートアップや起業家の支援を開始。起業を促進するためのビジネスプランコンテストや事業の成長を促すアクセラレーションプログラムの実施、企業や投資家とのマッチングなどに取り組んでいます。

対象国の一つであるエチオピアは起業家がまだ少なく、政府職員のスタートアップや投資に関する知識が不足し、法律や政策が十分には整備されていないことなどが課題となっています。

アクセラレーションプログラムで育成

こうしたエチオピアに対し、JICAは2021年9月にアドバイザーとして専門家を派遣。関連政策や制度の改善のほか、革新・技術省(MInT)と共にビジネス開発研修などを通じて起業家を育成するとともに、革新的なスタートアップが継続的かつ自律的に生まれる環境「スタートアップ・エコシステム」のさらなる発展に取り組んでいます。

2022年10月と翌年6月には、MInTの職員と計

16社のスタートアップがドバイとモロッコで開催された世界最大規模のテック系イベントに参加しました。そのうちの2社は、この機会にインドの大手生鮮食料品サプライチェーンのスタートアップと開発パートナーシップを締結しています。

またアクセラレーションプログラムを通じた支援として、114社の応募企業から競合優位性、社会的インパクトなどを基準に30社を選抜。2023年1月にピッチスキルを学ぶ1週間の研修を行い、2度のコンテストピッチを経て6社を選考しました。

今後この6社は、4カ月間の事業開発トレーニングを受講しビジネス開発の概念実証に取り組むほか、日本で行う研修にも参加し、アクセラレーターや投資家などと交流することになっています。

VOICE

目標の実現に大きく前進しました

グソー・テクノロジーズ 株式会社
CEO
ダニエル・ゲタチャーさん



ドバイのテック系イベントでは、業界のリーダーから事業に役立つ情報が得られました。また、アクセラレーションプログラムはとても実践的で、エチオピアの文化遺産を疑似体験するXR(仮想現実など)技術で観光振興に貢献したいという目標の実現に、大きく前進することができました。

エコシステムの発展に取り組んでいます

JICA専門家
スタートアップエコシステムアドバイザー
原 祥子さん



ビジネス支援プログラムや法案・政策関連研修、スタートアップ支援団体向け研修などにMInT職員と共に取り組み、ノウハウを伝えています。エチオピアでより多くのスタートアップが誕生するようエコシステムをさらに発展させ、雇用創出など社会課題の解決につなげることが目標です。



ドバイで開催された「GITEX GLOBAL」のピッチイベントに参加するエチオピアのスタートアップ経営者たち